



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.101



5月

発行 / 公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2015年5月1日

地域再生への夢

会長 中山庚一郎

日本の観光業は1990年ころより、利益の上がない産業への道を突き進んだ。そして多くの老舗をふくむ倒産、廃業が始まり、その1/3が無くなり4万3千軒に減少している。国内には格安旅館が増え、満たされたゆったりとした滞在を求める人々の旅の夢は、海外に向かっていった。同時に日本の地域は、豊かさや将来への夢を失い、高齢化をむかえ農業の衰退、商店街の衰退、さらに限界集落の危険へと傾いている。一方で都市部は、経済は活性化し、世界第3位の豊かな国家を謳歌している。

しかしこの豊かな経済の流れは、何時変わるかは予想できない。日本の将来を考えれば、都市と地域の異なったスペースが必要であり、この度の経済の好転は、その時への布石のチャンスである。地域というスペースに再生を促す施策が早急に必要であり私たちの協会が提唱する観光業から観光産業への変換は、今や日本の最重要課題のひとつである。

様々な施策があろうが、第一は、地域が新しい力や新しい人材を引き寄せる形に変わることである。その為に、地域は新しいスペースを用意しなければならない。農地法や既得権を越える超法規の特区の導入がなされ、川流れ緑豊かな夢を育む3~5万坪の新しいスペースを作り出すことである。そこに昔からある農業、林業、漁業などを生かす新しいパイ

オ産業を起業させ、各地域に独自の産業が始まることである。

第二に、その起業を助ける資金や税制、住民や行政の協力である。さらにその地域独特の手法や技術を支援する組織づくり、地域や産品を広く知らせるために、地域と人々の交流を促す滞在型の広域観光交流空間を整備して、地域のファンを増やし、地域のイメージを高め、産品の理解をふかめるシステムの構築が必要である。

第三に、産品は地域独自の特性を備え、数量は増やさずに確実な利益を生むものに限ることである。利益は、若者に将来への夢を与え、高い年収と生きがいは、地域への定住を促す筈である。

国際観光施設協会の技術委員会、旅館観光地分科会では、地域と人々の交流を高める滞在型観光のために何が必要か、どんなインフラを整備すべきか、どんな産品の可能性があるかの研究を始めている。長野県アルプス高地の白骨、上高地、乗鞍など五地域が新しい広域観光地域を目指して動き始めている。それらに対して、どのような形がその地域にふさわしく、またどの様に利益を上げ人々の心を躍らせるか、施設協会の役割は重要であり、大きな夢をめざしている。

平成27年度の通常総会とセミナー・交歓会のお知らせ

平成27年度の通常総会および当日の関連行事の概要が決まりました。今年度の会場は、100年に一度と言われる規模で進む渋谷駅周辺の再開発を間近で感じながら“渋谷エクセルホテル東急”で行います。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを目指し東京がダイナミックに変貌する中、とりわけ渋谷の複合的開発は、その規模や未来に向けた方向性などから大いに注目されているプロジェクトです。既に「ビッド・バレー」と称されているほどICTの世界を目指すインキュベーション・シティと評価されている中、インバウンド戦略を含めたハード・ソフトの再開発の真髄を東急電鉄そして東急不動産両社のコアメンバーから直にお伺いできる絶好の機会のセミナーです。マスコミなどでは語られないリアルな情報を知りうる唯一の機会です。通常総会および交歓会は次の通りです。

日時 平成27年6月17日(水)14時~19時
場所 渋谷エクセルホテル東急
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-2

スケジュール(予定)

- ・通常総会 (6階プラネタリウム) 14時~15時20分
- ・セミナー (6階プラネタリウム) 15時30分~17時
- ・情報交歓会 (6階プラネタリウム) 17時30分~19時

インテリア部会 新情報発信グループセミナー 報告

「カジノを含むIRの開発に向けた取組みを
キャピタル&イノベーション小池代表に聞く」

2月26日アライブ南平台でインテリア部会新情報発信グループのセミナーが行われ、48名が参加しました。

日本でのカジノ事業は、非常に高い収益が約束されているだけに国際的にも関心が高く、心してやる必要があり社会に大きな責任を負う事業であります。

カジノを含む統合型リゾート開発は、日本の成長戦略である「ピジットジャパンの「日本のよさを世界に発信する仕組みづくり」とクールジャパンの「世界に発信して産業競争力を高めていこう」という二つの目的を進めるために行う事業です。

国が初めは2つぐらいの自治体を選び、自治体を選んだ運営者が区域免許とカジノ免許を取得します。この区域免許とカジノ免許は最大10の自治体までしか許可しないことが収益を高く保てる理由です。メディアの論調では外国の方にお金を落としてもらうとされていますが、実際はそうではなく対象は国内の日帰り圏内人口3000万人×365日の日本国民から8割と試算されています。インバウンドが昨年1300万人を超えたましたが数字の上では桁違いであります。

橋本総業エコリフォームセンター見学会 報告

設備部会の本年度第2回目の施設見学会が3月5日に会員20名が参加し行われました。見学施設は橋本総業東雲エコリフォームセンター。空気・熱・水・電気などのエネルギーの動きを実体験し、スマートで快適な暮らしとエコリフォームを提案することをコンセプトとしている施設です。「今後のエネルギーと設備について」の講演後に施設内の見学が行われました。スマートハウスでの電気の見える化。配管の見える化による排水状況の実演などリフォームのヒントが盛り沢山の展示実演施設でした。見学会終了後の懇親会は美味しい料理とドリンクを楽しみながら懇親を深める事が出来ました。エコリフォームセンターの関係者の皆様、有難うございました。

年会費 お振込みのお願い

4月1日付で、平成27年度の年会費「請求書」を発送させていただきました。早めにお振込みくださいますようお願いいたします。

情報記事提供のお願い 総務委員会

協会だよりに掲載する皆様からの投稿をお待ちしています。

会員相互の情報交換として、情報のご提供をお願いします。

- 1) 所属されている業界の最近の動きについて
- 2) 自社の活動や新しい製品などについて

協会前会長の村尾成文様が4月13日にご逝去、79歳の天寿を全うされました。村尾さんは1960年東大工学部建築学科をご卒業し山下寿郎設計事務所に入社。1967年日本設計の創設に参画され、取締役、常務、専務、副社長を経て、2001年より特別顧問に就任されました。

当協会には1991年理事にご就任、常務理事、副会長を経て2003年より柴田陽三会長の後を受けて第7代会長に就任され、2009年まで会長として協会の発展にご尽力いただきました。この間、2004年に我が国初の景観に関する総合的な法律、景観法が施行されたのを受けて2005年に『景観特別委員会』を立ち上げ、観光立国を成就するためにも避けて通れない景観問題について研究を続け協会としての景観形成に関する行動指針を示されました。2006年には公益法人制度改革にあたって、移行準備委員会を設置し進むべき道についてご指導いただきました。これまでの御恩に感謝しつつご冥福をお祈りいたします。

新入会員紹介 (入会順)

<p>【メーカー】愛知時計電機(株) (代表者)取締役 社長 (担当者)東京支店 課長 神田 廣一 平山 由紀夫 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2 TEL03-3209-3700 FAX03-3209-7798 営業内容：精密機器製造・販売</p>
<p>【設計・コンサル】(株)ゼネラルフード事業スタジオ (代表者)代表取締役 石川 幸千代 〒104-0061 東京都中央区銀座5-14-16 7F 7F 7F 603 TEL03-3541-8777 FAX03-3541-8926 営業内容：レストランのトータルプロデュース</p>
<p>【個人】立石博巳 〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-9-7 TEL・FAX03-3390-5660</p>
<p>【設計・コンサル】東北工業大学 工学部建築学科 (代表者)准教授 竹内 泰 〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1 TEL022-305-3603 FAX022-305-3601 営業内容：建築設計 インテリア設計</p>

P 第105回ゴルフ会 P

第105回ゴルフ会を朝霧ジャンボリーゴルフクラブにて平成27年6月5日(金)~6月6日(土)開催します。日帰り参加も可能。ご多忙中とは思いますが皆様お誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしております。

◎編集後記◎

平成27年度がスタートして、新年度に対する事業計画が策定されて具体的な詰めに入ろうとしています。更なる公益目的事業の推進を中心に、会員同士の交流を目的とした事業についても充実を図る計画とのことです。今年度は役員改選の年でもありますので、新たな人事による新たな体制によって協会の活動が更に活性化されますよう、全員で協力してまいりたいと思います。

Y . K